

工業用水道事業特別会計

1 事業の概況

(1) 業務実績

当年度の給水事業所数は4箇所、年間契約水量は321,200 m³、年間総給水量、年間総有収水量はいずれも223,720 m³で、年度有収率は100.0%となっている。

これを前年度と比較すると、給水事業所数は同数、年間契約水量は98,550 m³ (44.3%)増加し、年間総給水量、年間総有収水量はいずれも11,107 m³ (4.7%)減少している。年度有収率は前年度と同率である。

業務実績

区 分	単位	4 年 度 (A)	3 年 度 (B)	前 年 度 比 較	
				増 減 (A)－(B)	増 減 率
給 水 事 業 所 数	箇所	4	4	0	—
給 水 件 数	件	4	4	0	—
年 間 契 約 水 量	m ³	321,200	222,650	98,550	44.3 %
年 間 総 給 水 量	m ³	223,720	234,827	△ 11,107	△ 4.7 %
一 日 平 均 給 水 量	m ³	613	643	△ 30	△ 4.7 %
年 間 総 有 収 水 量	m ³	223,720	234,827	△ 11,107	△ 4.7 %
年 度 有 収 率	%	100.0	100.0	ポイント 0.0	—

(2) 建設改良事業等

当年度は、建設改良工事は行っていないが、補修工事として、一倉工水水源地外柵等の修繕を行っている。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額 1,249 万円に対し、決算額 1,259 万円で、9 万円の増、収入率は 100.8%となっている。決算額が増となった主な要因は、営業収益の増である。

収益的支出は、予算額 1,018 万円に対し、決算額 697 万円で、321 万円の不用額が生じ、執行率は 68.5%となっている。不用額の主なものは営業費用である。

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	収入率 (B)/(A)
工業用水道事業収益	12,496	12,590	94	100.8
営 業 収 益	12,366	12,451	85	100.7
営 業 外 収 益	130	133	3	102.7
特 別 利 益	0	5	5	—

支 出

(単位：千円, %)

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
工業用水道事業費	10,184	6,972	0	3,211	68.5
営 業 費 用	10,084	6,949	0	3,134	68.9
特 別 損 失	23	22	0	0	98.5
予 備 費	77	0	0	77	—

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出は、予算措置をしていない。

3 経営成績

経営成績をみると、総収益は1,259万円、総費用は697万円で、差引き561万円の純利益となっている。

これを前年度と比較すると、総収益は192万円、総費用は18万円それぞれ増加し、純利益は174万円増加している。

経営成績の前年度比較

(単位：千円,%)

年 度	総 収 益		総 費 用		損 益 (A) - (B)
	金 額 (A)	対前年度 増 減 率	金 額 (B)	対前年度 増 減 率	
3 (C)	10,660	26.1	6,783	17.9	3,876
4 (D)	12,590	18.1	6,972	2.8	5,617
前年度比較 (D) - (C)	1,929	—	188	—	1,741

(1) 総収益

営業収益は 1,245 万円で、前年度と比較して 192 万円増加している。この要因は、基本使用水量の増加による給水収益の増である。

営業外収益は 13 万円で、前年度と比較して 1 千円減少している。

特別利益は 5 千円皆増している。

総収益構成

(単位：千円, %)

区 分	4 年 度		3 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
営 業 収 益	12,451	98.9	10,525	98.7	1,925	18.3
給 水 収 益	12,451	98.9	10,525	98.7	1,925	18.3
営 業 外 収 益	133	1.1	134	1.3	△ 1	△ 0.8
受 取 利 息	10	0.1	11	0.1	△ 1	△ 9.3
長 期 前 受 金 戻 入	122	1.0	122	1.2	0	—
特 別 利 益	5	0.0	0	—	5	皆増
過 年 度 損 益 修 正 益	5	0.0	0	—	5	皆増
合 計	12,590	100.0	10,660	100.0	1,929	18.1

(2) 総費用

営業費用は 694 万円で、前年度と比較して 16 万円増加している。この主な要因は、原水及び浄水費が 15 万円増加したことである。

特別損失は 2 万円皆増している。

総費用構成

(単位：千円, %)

区 分	4 年 度		3 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
営 業 費 用	6,949	99.7	6,783	100.0	166	2.5
原 水 及 び 浄 水 費	5,432	77.9	5,272	77.7	159	3.0
業 務 費	10	0.2	10	0.2	0	—
総 係 費	133	1.9	127	1.9	6	5.1
減 価 償 却 費	1,373	19.7	1,373	20.2	0	—
特 別 損 失	22	0.3	0	—	22	皆増
過 年 度 損 益 修 正 損	22	0.3	0	—	22	皆増
合 計	6,972	100.0	6,783	100.0	188	2.8

次に、性質別費用を前年度と比較すると、増減額の大きなものは、委託料が90万円で11万円、動力費が335万円で8万円の増、一方、修繕費が95万円で3万円の減である。

性質別費用構成

(単位：千円, %)

区 分	4 年 度		3 年 度		前 年 度 比 較	
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率
動 力 費	3,353	48.1	3,264	48.1	89	2.7
減 価 償 却 費	1,373	19.7	1,373	20.2	0	—
委 託 料	902	12.9	782	11.5	119	15.3
修 繕 費	954	13.7	990	14.6	△ 35	△ 3.6
そ の 他	365	5.2	373	5.5	△ 7	△ 2.0
特 別 損 失	22	0.3	0	—	22	皆増
合 計	6,972	100.0	6,783	100.0	188	2.8

(3) 経営成績の推移

経営成績の推移をみると、営業収益が年々増加しており、純利益も増加している。

経営成績の推移

(単位：千円)

区 分	30 年 度	元 年 度	2 年 度	3 年 度	4 年 度
収 益	6,903	7,266	8,456	10,660	12,590
営 業 収 益	6,684	7,067	8,296	10,525	12,451
営 業 外 収 益	218	198	159	134	133
特 別 利 益	0	0	0	0	5
費 用	6,399	6,027	5,754	6,783	6,972
営 業 費 用	6,399	6,027	5,754	6,783	6,949
特 別 損 失	0	0	0	0	22
営 業 利 益 (△ 営 業 損 失)	285	1,039	2,541	3,741	5,501
経 常 利 益 (△ 経 常 損 失)	504	1,238	2,701	3,876	5,634
純 利 益 (△ 純 損 失)	504	1,238	2,701	3,876	5,617
年 度 末 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 年 度 末 未 処 理 欠 損 金)	504	1,238	2,701	3,876	5,617

(4) 一般会計繰入金の推移

当年度を含め、過去5年度における一般会計繰入金は無い。

(5) 供給単価及び給水原価

有収水量 1 m³当たりの供給単価は 38.63 円、給水原価は 21.18 円であり、供給単価が給水原価を 17.45 円上回っている。

これを前年度と比較すると、供給単価は 3.61 円、給水原価は 5.55 円それぞれ減少している。

給水原価の主なものは、動力費が 10.40 円、減価償却費が 4.26 円となっている。

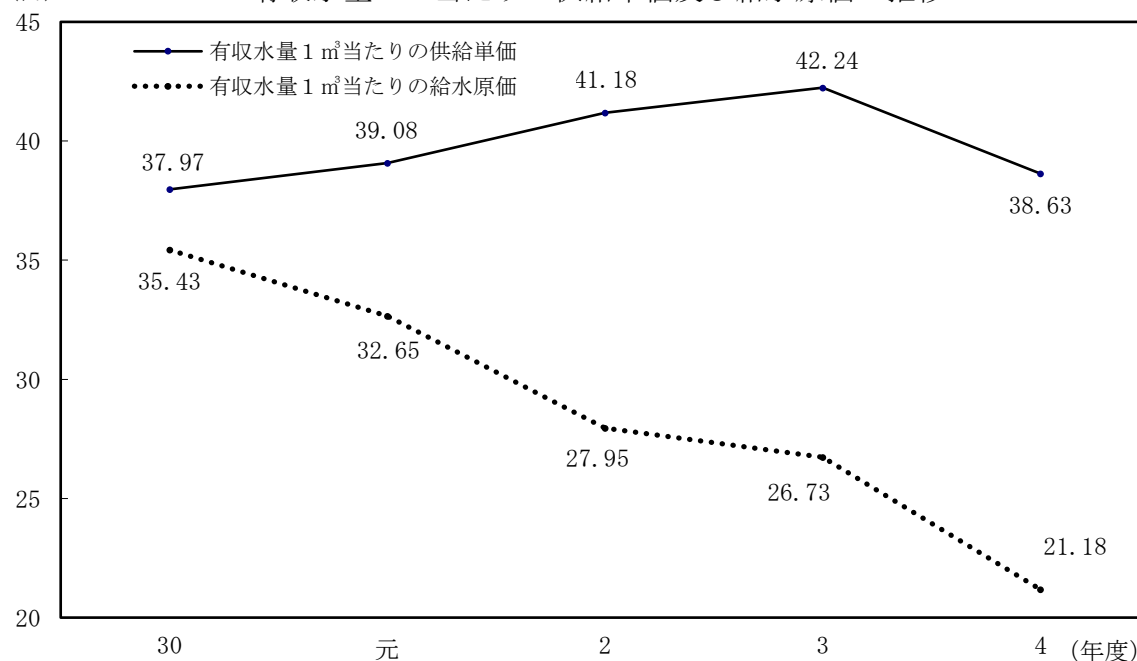
有収水量 1 m³当たりの供給単価及び給水原価の比較

(単位：円, %)

区 分	4 年 度		3 年 度		前 年 度 比 較		
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比	金 額 (A) - (B)	増 減 率	
供 給 単 価 (C)	38.63	—	42.24	—	△ 3.61	△ 8.5	
給 水 原 価 (D)	21.18	100.0	26.73	100.0	△ 5.55	△ 20.8	
給 水 原 価 内 訳	動 力 費	10.40	49.1	13.10	49.0	△ 2.70	△ 20.6
	減 価 償 却 費	4.26	20.1	5.51	20.6	△ 1.25	△ 22.7
	委 託 料	2.80	13.2	3.14	11.7	△ 0.34	△ 10.8
	修 繕 費	2.96	14.0	3.98	14.9	△ 1.02	△ 25.6
	そ の 他	1.14	5.4	1.50	5.6	△ 0.36	△ 24.0
	長 期 前 受 金 戻 入	△ 0.38	△ 1.8	△ 0.50	△ 1.9	0.12	△ 24.0
差 引 (C) - (D)	17.45	—	15.51	—	1.94	—	

(注) 供給単価 = $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量 (料金算定分)}}$ 給水原価 = $\frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量 (料金算定分)}}$

(円) 有収水量 1 m³当たりの供給単価及び給水原価の推移



(6) 収益性分析

事業の収益性を前年度と比較してみると、総収支比率は 180.6%で 23.5 ポイント、経常収支比率は 181.1%で 24.0 ポイント、営業収支比率は 179.2%で 24.0 ポイントそれぞれ上昇している。

各比率がいずれも上昇した主な要因は、給水収益の増により営業収益が増加したことである。

また、営業収益に対する営業費用の割合は 55.8%で前年度より 8.6 ポイント低下している。

収支比率の推移

(単位：%)

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度 (A)	4年度 (B)	増 減 (B) - (A)
総 収 支 率 $\left\{ \frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100 \right\}$	107.9	120.5	146.9	157.1	180.6	23.5 ポイント
経常収支率 $\left\{ \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100 \right\}$	107.9	120.5	146.9	157.1	181.1	24.0
営業収支率 $\left\{ \frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100 \right\}$	104.5	117.2	144.2	155.2	179.2	24.0

営業収益に対する営業費用の割合の推移

(単位：%)

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度 (A)	4年度 (B)	増 減 (B) - (A)
営業収益に 対する割合	営 業 費 用	95.7	85.3	69.4	64.4	55.8 △ 8.6 ポイント
	減 価 償 却 費	25.0	23.7	20.1	13.0	11.0 △ 2.0
	動 力 費	35.6	36.3	30.3	31.0	26.9 △ 4.1
	そ の 他	35.1	25.3	18.9	20.4	17.9 △ 2.5

4 財政状態

(1) 資産

資産総額は1億7,400万円で、前年度と比較して616万円増加している。

資産総額のうち固定資産は3,428万円で、前年度と比較して139万円減少している。
この主な要因は、構築物が101万円減少したことである。

流動資産は1億3,971万円で、前年度と比較して755万円増加している。この主な要因は、現金・預金が747万円増加したことである。

(2) 負債

負債総額は337万円で、前年度と比較して54万円増加している。

流動負債は73万円で、前年度と比較して67万円増加している。これは、未払金の増加によるものである。

繰延収益は263万円で、前年度と比較して12万円減少している。

(3) 資本

資本総額は1億7,062万円で、前年度と比較して561万円増加している。

資本総額のうち資本金は1億495万円で、前年度と同額である。

剰余金は6,567万円で、前年度と比較して561万円増加している。

なお、当年度未処分利益剰余金は561万円で、これは当年度純利益である。

財政状態の前年度比較

(単位：千円, %)

区 分	4 年 度 (A)	3 年 度 (B)	前 年 度 比 較	
			金 額 (A) - (B)	増減率
資 産	174,003	167,841	6,161	3.7
固 定 資 産	34,287	35,683	△ 1,395	△ 3.9
流 動 資 産	139,716	132,158	7,557	5.7
負 債	3,375	2,830	544	19.2
流 動 負 債	739	67	672	1,003.2
繰 延 収 益	2,635	2,763	△ 128	△ 4.6
資 本	170,628	165,010	5,617	3.4
資 本 金	104,950	104,950	0	—
剰 余 金	65,677	60,060	5,617	9.4

有形固定資産及び減価償却の推移

(単位：千円, %)

年度	有形固定資産			減価償却累計額		有形固定資産 償却未済高 (C) - (D)	有形固定 資産減価 償却率※
	年度当初 現在高 (A)	当年度 増減額 (B)	年度末 現在高(C) ((A) + (B))	当年度 増減額	年度末 累計額 (D)		
30	141,434	△ 3,172	138,262	△ 1,341	97,864	40,397	70.8
元	138,262	0	138,262	1,671	99,536	38,726	72.0
2	138,262	0	138,262	1,669	101,206	37,056	73.2
3	138,262	0	138,262	1,373	102,579	35,683	74.2
4	138,262	△ 453	137,809	942	103,521	34,287	75.1

※算式は、(有形固定資産減価償却累計額) / (有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価) × 100

(4) 財務比率

財務比率についてみると、総資本に対する自己資本（資本金+剰余金+繰延収益）の占める割合を示す自己資本構成比率は 99.6%で、前年度と比較して 0.4 ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、流動負債が増加したことである。

また、長期資本（自己資本+固定負債）に対する固定資産の割合を示す固定長期適合率は 19.8%で、前年度と比較して 1.5 ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、固定資産が減少したことである。

流動負債に対する流動資産の割合を示す流動比率は 18,887.2%で、前年度と比較して 178,196.4 ポイント低下している。当年度の比率が低下した主な要因は、流動負債が増加したことである。

財務比率の推移

(単位：%)

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度 (A)	4年度 (B)	増 減 (B) - (A)
自己資本 構成比率 $\left\{ \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100 \right\}$	99.4	99.9	99.7	100.0	99.6	ポイント △ 0.4
固定長期 適合率 $\left\{ \frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}} \times 100 \right\}$	25.2	24.0	22.6	21.3	19.8	△ 1.5
流動比率 $\left\{ \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 \right\}$	12,857.8	92,550.7	23,553.6	197,083.6	18,887.2	△ 178,196.4

5 資金の状況

当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは747万円となり、前年度末と比較して302万円増加している。

投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは発生していない。

この結果、当年度の資金は747万円増加し、資金期末残高は1億3,785万円となっている。

比較キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（単位：千円）

区 分	4年度（A）	3年度（B）	増減(A)－(B)
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	5,617	3,876	1,741
減価償却費	1,373	1,373	0
過年度損益修正損	22	0	22
長期前受金戻入額	△ 122	△ 122	0
過年度損益修正益	△ 5	0	△ 5
受取利息及び受取配当金	△ 10	△ 11	1
未収金の増減額（△は増加）	△ 86	△ 207	121
未払金の増減額（△は減少）	672	△ 474	1,146
小計	7,460	4,433	3,027
利息及び配当金の受取額	10	11	△ 1
業務活動によるキャッシュ・フロー	7,471	4,444	3,026
資金増加額（又は減少額）	7,471	4,444	3,026
資金期首残高	130,386	125,941	4,444
資金期末残高	137,857	130,386	7,471

6 その他

(1) 未収金

当年度末現在の未収金は給与収益185万円で、前年度と比較すると8万円増加している。

なお、過年度分の未収金はない。

未収金の状況

（単位：千円）

年 度	給 水 収 益
4	1,858
当 年 度 末 (A)	1,858
前 年 度 末 (B)	1,772
(A)－(B)	86

7 むすび

工業用水道事業においては、一倉工業団地などの4事業所への安定的な給水に努めている。

当年度の経営状況については、基本使用水量の増による給水収益の増加により、561万円の純利益となっており、第2期鹿児島市上下水道事業経営計画及び中期財政計画で見込んだ収支計画を上回っている。また、総収支比率、経常収支比率がいずれも180%を超えるなど、財務比率や収益率をみても健全経営を維持しているといえる。

経営環境をみると、責任使用水量制により、一定の収入は確保できるものの、工業用水道施設の建設から30年以上が経過し、施設の維持管理や、経年劣化等に伴う費用の増加が見込まれることから、既存施設の能率の向上や長寿命化を図りつつ、施設の更新に備え効率的な事業運営に努められたい。

なお、施設の更新が必要な際には、将来の工業用水需要と使用効率等を総合的に勘案して施設規模を検討されたい。

今後とも、施設や設備の適切な維持管理と収益の確保に取り組み、産業活動に欠かせない工業用水の安定的供給に努められたい。

付 表

4年度工業用水道事業損益計算書……………	1 1 8
工業用水道事業損益計算書（対前年度比較）……………	1 2 0
4年度工業用水道事業貸借対照表……………	1 2 2
工業用水道事業貸借対照表（対前年度比較）……………	1 2 4
工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書（対前年度比較）……	1 2 6
工業用水道事業財務分析比率等比較表……………	1 2 8

4年度工業用水道事業損益計算書

費 用 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
営 業 費 用	6,949,843	100.0	99.7
原 水 及 び 浄 水 費	5,432,335	78.2	77.9
業 務 費	10,824	0.2	0.2
総 係 費	133,586	1.9	1.9
減 価 償 却 費	1,373,098	19.8	19.7
特 別 損 失	22,650	100.0	0.3
過 年 度 損 益 修 正 損	22,650	100.0	0.3
計	6,972,493		100.0
当 年 度 純 利 益	5,617,521		—
合 計	12,590,014		—

(単位：円,%)

収 益 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
営 業 収 益	12,451,019	100.0	98.9
給 水 収 益	12,451,019	100.0	98.9
営 業 外 収 益	133,545	100.0	1.1
受 取 利 息	10,682	8.0	0.1
長 期 前 受 金 戻 入	122,863	92.0	1.0
特 別 利 益	5,450	100.0	0.0
過 年 度 損 益 修 正 益	5,450	100.0	0.0
合 計	12,590,014		100.0

工業用水道事業損益計算書（対前年度比較）

費 用 の 部				
科 目	4 年 度	3 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
営 業 費 用	6,949,843	6,783,585	166,258	2.5
原水及び浄水費	5,432,335	5,272,549	159,786	3.0
業 務 費	10,824	10,824	0	—
総 係 費	133,586	127,114	6,472	5.1
減 価 償 却 費	1,373,098	1,373,098	0	—
特 別 損 失	22,650	0	22,650	皆増
過年度損益修正損	22,650	0	22,650	皆増
計	6,972,493	6,783,585	188,908	2.8
当年度純利益	5,617,521	3,876,485	1,741,036	44.9
合 計	12,590,014	10,660,070	1,929,944	18.1

(単位：円,%)

収 益 の 部				
科 目	4 年 度	3 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
営 業 収 益	12,451,019	10,525,431	1,925,588	18.3
給 水 収 益	12,451,019	10,525,431	1,925,588	18.3
営 業 外 収 益	133,545	134,639	△ 1,094	△ 0.8
受 取 利 息	10,682	11,776	△ 1,094	△ 9.3
長 期 前 受 金 戻 入	122,863	122,863	0	—
特 別 利 益	5,450	0	5,450	皆増
過 年 度 損 益 修 正 益	5,450	0	5,450	皆増
合 計	12,590,014	10,660,070	1,929,944	18.1

4年度工業用水道事業貸借対照表

資 産 の 部			
科 目	金 額	内 容 比 率	構 成 比 率
固 定 資 産	34,287,429	100.0	19.7
有 形 固 定 資 産	34,287,429	100.0	19.7
建 物	6,444,494	18.8	3.7
構 築 物	24,772,435	72.2	14.2
機 械 及 び 装 置	3,070,500	9.0	1.8
流 動 資 産	139,716,012	100.0	80.3
現 金 ・ 預 金	137,857,233	98.7	79.2
未 収 金	1,858,779	1.3	1.1
合 計	174,003,441		100.0

(単位：円,%)

負債及び資本の部			
科目	金額	内容比率	構成比率
流動負債	739,740	100.0	0.4
未払金	739,740	100.0	0.4
繰延収益	2,635,439	100.0	1.5
長期前受金	8,234,316	312.4	4.7
県費補助金	8,234,316	312.4	4.7
収益化累計額	△ 5,598,877	△ 212.4	△ 3.2
県費補助金	△ 5,598,877	△ 212.4	△ 3.2
負債合計	3,375,179		1.9
資本金	104,950,614	100.0	60.3
剰余金	65,677,648	100.0	37.7
利益剰余金	65,677,648	100.0	37.7
利益積立金	9,590,000	14.6	5.5
建設改良積立金	50,470,127	76.8	29.0
当年度未処分利益剰余金	5,617,521	8.6	3.2
当年度純利益	5,617,521	8.6	3.2
資本合計	170,628,262		98.1
合計	174,003,441		100.0

工業用水道事業貸借対照表（対前年度比較）

資 産 の 部				
科 目	4 年 度	3 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
固 定 資 産	34,287,429	35,683,177	△ 1,395,748	△ 3.9
有 形 固 定 資 産	34,287,429	35,683,177	△ 1,395,748	△ 3.9
建 物	6,444,494	6,679,715	△ 235,221	△ 3.5
構 築 物	24,772,435	25,783,800	△ 1,011,365	△ 3.9
機 械 及 び 装 置	3,070,500	3,219,662	△ 149,162	△ 4.6
流 動 資 産	139,716,012	132,158,373	7,557,639	5.7
現 金 ・ 預 金	137,857,233	130,386,018	7,471,215	5.7
未 収 金	1,858,779	1,772,355	86,424	4.9
合 計	174,003,441	167,841,550	6,161,891	3.7

(単位：円,%)

負債及び資本の部				
科 目	4 年 度	3 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
流 動 負 債	739,740	67,057	672,683	1,003.2
未 払 金	739,740	67,057	672,683	1,003.2
繰 延 収 益	2,635,439	2,763,752	△ 128,313	△ 4.6
長 期 前 受 金	8,234,316	8,343,316	△ 109,000	△ 1.3
県 費 補 助 金	8,234,316	8,343,316	△ 109,000	△ 1.3
収 益 化 累 計 額	△ 5,598,877	△ 5,579,564	△ 19,313	0.3
県 費 補 助 金	△ 5,598,877	△ 5,579,564	△ 19,313	0.3
負 債 合 計	3,375,179	2,830,809	544,370	19.2
資 本 金	104,950,614	104,950,614	0	—
剰 余 金	65,677,648	60,060,127	5,617,521	9.4
利 益 剰 余 金	65,677,648	60,060,127	5,617,521	9.4
利 益 積 立 金	9,590,000	9,590,000	0	—
建 設 改 良 積 立 金	50,470,127	46,593,642	3,876,485	8.3
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	5,617,521	3,876,485	1,741,036	44.9
当 年 度 純 利 益	5,617,521	3,876,485	1,741,036	44.9
資 本 合 計	170,628,262	165,010,741	5,617,521	3.4
合 計	174,003,441	167,841,550	6,161,891	3.7

工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書（対前年度比較）

区 分	4 年 度
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	5,617,521
減価償却費	1,373,098
過年度損益修正損	22,650
長期前受金戻入額	△ 122,863
過年度損益修正益	△ 5,450
受取利息及び受取配当金	△ 10,682
未収金の増減額（△は増加）	△ 86,424
未払金の増減額（△は減少）	672,683
小計	7,460,533
利息及び配当金の受取額	10,682
業務活動によるキャッシュ・フロー	7,471,215
資金増加額（又は減少額）	7,471,215
資金期首残高	130,386,018
資金期末残高	137,857,233

（注）本表は、間接法により作成している。

(単位：円)

3 年 度	増 減 額
3,876,485	1,741,036
1,373,098	0
0	22,650
△ 122,863	0
0	△ 5,450
△ 11,776	1,094
△ 207,546	121,122
△ 474,287	1,146,970
4,433,111	3,027,422
11,776	△ 1,094
4,444,887	3,026,328
4,444,887	3,026,328
125,941,131	4,444,887
130,386,018	7,471,215

工業用水道事業財務分析比率等比較表

分析項目		算式
構成比率	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}}{\text{総資本（負債＋資本）}} \times 100$
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
財務	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本（固定負債＋資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
比率	固定負債比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{自己資本（資本金＋剰余金＋繰延収益）}} \times 100$
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
率	当座比率 (酸性試験比率)	$\frac{\text{当座資産（現金預金＋未収金－貸倒引当金）}}{\text{流動負債}} \times 100$
	総資本利益率	$\frac{\text{純利益（△純損失）}}{\text{平均総資本（（前年度総資本＋当年度総資本）÷2）}} \times 100$
益	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
率	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
	回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{平均固定資産（（期首固定資産＋期末固定資産）÷2）}} \times 100$
その他	企業債元利償還金対 料金収入比率	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$

(単位：円, %, 回)

4 年 度 (A)		3 年 度 (B)	2 年 度 (C)	対前年度増減	
				4 年 度 (A) - (B)	3 年 度 (B) - (C)
$\frac{173,263,701}{174,003,441} \times 100$	99.6	100.0	99.7	ポイント △ 0.4	ポイント 0.3
$\frac{34,287,429}{173,263,701} \times 100$	19.8	21.3	22.6	△ 1.5	△ 1.3
$\frac{34,287,429}{173,263,701} \times 100$	19.8	21.3	22.6	△ 1.5	△ 1.3
$\frac{3,375,179}{173,263,701} \times 100$	1.9	1.7	2.1	0.2	△ 0.4
$\frac{0}{173,263,701} \times 100$	—	—	—	—	—
$\frac{139,716,012}{739,740} \times 100$	18,887.2	197,083.6	23,553.6	△ 178,196.4	173,530.0
$\frac{139,716,012}{739,740} \times 100$	18,887.2	197,083.6	23,553.6	△ 178,196.4	173,530.0
$\frac{5,617,521}{170,922,496} \times 100$	3.3	2.3	1.7	1.0	0.6
$\frac{12,590,014}{6,972,493} \times 100$	180.6	157.1	146.9	23.5	10.2
$\frac{12,584,564}{6,949,843} \times 100$	181.1	157.1	146.9	24.0	10.2
$\frac{12,451,019}{6,949,843} \times 100$	179.2	155.2	144.2	24.0	11.0
$\frac{12,451,019}{34,985,303}$	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1
$\frac{0}{12,451,019} \times 100$	—	—	—	—	—

